

慢性疾患のクオリティ・オブ・ライフを高めよう！  
専門家と一緒に考える心理・社会的「セルフケア」

日時：2017年5月13日（土）  
15:00~16:30

場所：京都大学 国際科学イノベーション棟  
シンポジウムホール  
国際科学イノベーション棟5階（西館）

住所：〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
[https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/?page\\_id=4](https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/?page_id=4)  
電話：075-753-7531

入場・参加費無料  
定員250名  
(申込不要)

座長 菅原 典夫 (国立精神・神経医療研究センター)  
ご挨拶 木村 円 (国立精神・神経医療研究センター)  
高田 博仁 (国立病院機構 青森病院)

きっかけは、筋強直性ジストロフィーのQOL調査研究

遠藤 麻貴子 (国立精神・神経医療研究センター)

「病気だからこそ」の生き方 – 筋疾患の患者として –

本田 充 (京都大学 iPS細胞研究所)

難病患者さんが利用できる社会資源と利用するコツ

戸田 真里 (京都府難病相談・支援センター)

大平 香織 (国立病院機構 青森病院)

認知行動療法 – 考え方・行動を変えて世界を変えよう！

渡辺 範雄 (京都大学 大学院医学研究科社会健康医学系)

問い合わせ先：国立精神・神経医療研究センター TMC 臨床研究支援部 TEL：042-341-2711 (内線：3841) 遠藤

主催 平成29年度 日本学術振興会科学研究費助成事業「筋強直性ジストロフィーの認知行動療法」研究班

主催 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系 渡辺 範雄

共催 平成29年度 厚生労働科学研究費補助金「筋ジストロフィーの標準的医療普及のための調査研究」班

共催 平成29年度日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業「エビデンス創出を目指した筋強直性ジストロフィー臨床研究」班